





令和5年 5月12日

資料提供先:島根県政記者会

うんなん

雲南市域インフラDX講習会を開催

~デジタル技術を活用したインフラ整備等 についての講習会のご案内です~

インフラ分野においては、激甚化・頻発化する災害対応やインフラ施設の老朽化対策の必要性は高まる一方、人口減少、少子高齢化に伴う深刻な人手不足が進むことが懸念されるため、建設現場の生産性向上が急務となっています。

このような状況をふまえ、施工時間の短縮や作業の効率化に対して効果が大きいICT施工に関する理解を深め、その普及拡大を目的として、建設業に関わる技術者を対象に講習会を実施します。

日 時:令和5年5月17日(水)10:00~12:00【座学講習】

13:15~15:30【現地講習】

場 所:島根県雲南合同庁舎 501・502会議室 【座学講習】

雲南市木次町斐伊川河川敷 【現地講習】

主 催:島根県i-Construction推進連絡会

詳細は別添チラシをご覧ください。

※取材を希望の方は、別紙-1の取材申し込みFAX票にて、5月16日までにお申し込みください。 座学を取材希望の方は、講習会開始5分前までに会場にお越しください。

問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長(改築) 安部 学 (内線204)

(広報担当) 計画課長 山本 活稔 (内線261)

TEL: (0852) 60-1345 (直通)

: (0852) 26-0611 (夜間·休日) URL: http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/

※松江国道事務所では、twitter (ツイッター)による情報発信を行っています。

ツイッター: http://twitter.com/road matsue

※道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

二次元バーコード



ご案内「雲南市域インフラ DX 講習会 (5/17)」

日時:令和5年5月17日(水)10:00~15:30

場所:島根県雲南合同庁舎 501・502 会議室 (座学)、雲南市木次町斐伊川河川敷 (現地)

主催:島根県 i-Construction 推進連絡会

定員:50 名*

継続学習制度: CPD: 4.2 単位、CPDS: 4 ユニット

※50 名を超えた場合、雲南市及びその周辺に本支店営業所を有する企業を優先します。

5月17日(水)10:00~ 【座学】

1. 開催地代表あいさつ (雲南市) 5分

雲南市長 石飛 厚志(いしとび あつし)氏

2. 概論(整備局) 15分

中国地方整備局 企画部 工事品質調整官 中本 嘉実(なかもと よしみ)氏タイトル『中国地方におけるインフラ DX』

- ICT からインフラ DX へ
- ICT もステージ2へ(工種→工事全体の生産性向上へ)
- サポート制度

3. ICT 基礎(JCMA) 30 分

(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 施工技術部会 實田 泰之(じつた やすゆき)氏タイトル『ICTツールの普段使いとその効果』

- ICT の入口(ICT を始めるために準備するもの、費用。次のステップに向けて)
- 小規模土工等への対応
- 3次元データを扱うことから開始(PM の現場体験で実施する内容の基礎知識)

4. 全国 Top ランナー(全国トップランナー) 45 分

株式会社砂子組 企画営業部 ICT 施工推進室長 真坂 紀至(まさか のりゆき)氏タイトル『まず、やってみる!ICT 活用から魅力発信へ』

- i-Con は目的ですか?手段ですか?
- スタートは ICT の活用から、そこで気がついた様々なつながりと相乗効果

5. 地域 Top ランナー(島根県:森下建設) 25 分

森下建設株式会社 代表取締役 森下 幸生(もりした ゆきお) ストラテジクスマネジメント株式会社

ICT ソリューション事業部 川口 太助(かわぐち だいすけ) タイトル『ICT への取組内容とその効果』

- ICT 導入に係るメリット(会社と作業員の立場から)
- ICT 導入に要した費用と教育内容
- 今後の方針

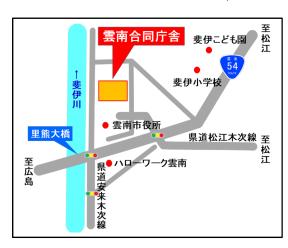
~昼休憩~

5月17日(水)13:15~15:30 【現地】

6. ICT 小型建機と三次元計測・出来形管理

(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 タイトル『ICTツールの普段使い体験』

- ICT 小型建機による掘削
- 三次元計測・出来形管理(杭ナビ等)





雲南市域インフラ DX 講習会 取材申し込みFAX票

- ●取材を希望される方は、以下の送付先にFAXを送信ください。
- F A X 送 付 先:中国地方整備局 松江国道事務所 計画課 FAX 番号 0852-22-9731
- ●申 込 締 切 日:令和5年5月16日(火)17:00
- ●取材希望する講習: 座学講習 現地講習 (該当する講習に○をしてください)

報	道	機	関	名	:	
氏名	31	(ふり	がな	;)	:	
氏名	3 ②	(ふり	がた	;)	:	
氏名	3	(ふり	がた	i)	:	
連絡	各先	(雷詞	香	킂)		

※1つの報道機関で、複数名取材を申し込まれる方は、全ての方のご氏名を記載ください。